

令和三年 秋の叙勲・褒章

おめでとーございませう

令和3年11月3日に秋の叙勲などが発表され、本市から3人が受章しました。

瑞宝双光章

堀内由美さん
(69歳・北飯渕)



堀内さんは富山県出身。昭和52年から平成24年まで看護師として公立相馬総合病院に勤務。

退職後は相馬看護学校で新人看護師の育成に尽力し、現在は相馬中央病院の看護部長として引き続き相馬地方の看護医療の向上に取り組んでいます。

(堀内さんのひと言)
家族や仲間を支えられての受章です。これからも横のつながりを大切に、看護師の育成に尽力します。

瑞宝双光章

堀川利夫さん
(74歳・中村)



堀川さんは相馬市出身。昭和44年に県教諭となり、大野小、中村一中の校長を歴任し、平成19年に退職。

平成24年10月から令和2年4月まで7年5カ月にわたり市教育長を務め、本市の防災教育などに尽力しました。

(堀川さんのひと言)
子どもたち、保護者、ともに働いた教職員など、これまで出会った全ての皆さんに感謝しています。

藍綬褒章

高松博さん
(70歳・大曲)



高松さんは相馬市出身。市内で学習塾を経営しながら、平成15年から調停委員に従事。

離婚問題や相続に関わる紛争などの解決に長年尽力しています。

(高松さんのひと言)
自分の道徳の押し付けに陥らないよう気を付けながら、当事者双方のより良い未来の選択に資することができるよう努めたいと思います。

選挙への協力に感謝 選挙啓発ポスターコンクール感謝状

選挙啓発ポスターコンクール感謝状授与式は11月11日、市民会館で行われました。

同コンクールへ多くの児童・生徒が出品したことに感謝の意を表すために行われ、出品点数の多かった中村第二小学校と中村第一中学校を表彰。

増子裕子選挙管理委員会委員長職務代理者が各校の校長に感謝状を手渡しました。



地域ぐるみの活動をたたえる 飯豊地区安全ボランティア

市役所で行われ、高橋義徳飯豊地区安全ボランティア委員長ら3人が訪れました。

今回の表彰は、学校安全活動に尽力し、功績が顕著な団体に贈られるもの。

同ボランティアは、平成17年2月から活動し、現在も日常の登下校時の見守り活動などに取り組んでいるほか、地域の協力のもと、子ども119番の家の機能に119番の機能を追加した「飯豊こども救急の家」を実施しています。



県教育委員会教育・文化関係表彰の受賞報告は11月16日、

防火法被で火の用心を呼び掛け

火災予防啓発活動



みなと保育園の火災予防啓発活動は11月9日、市内で行われました。

11月9日～15日の秋の全国火災予防運動に併せ、通園時に防火を呼び掛ける法被を着用することで地域の火災予防を啓発するもの。

園児らは保護者と一緒に市内店舗などに立ち寄り、「戸締り用心」「火の用心」と書かれた法被で火災予防を呼び掛けました。

新型コロナウイルスへの今後の対応

渋谷健司氏講演会

相馬地方市町村議会議員・幹部職員合同研修会および公開講座は11月12日、市民会館で開催され、相馬地方市町村議員や市民など約350人が参加しました。

相馬地方市町村会の主催。市新型コロナウイルススワッチン接種メディアカルセンターのセンター長を務める渋谷健司氏が「世界の新型コロナウイルスの状況と相馬地方が今後とるべき対応」と題した講演を行い、参加者は熱心に話に耳を傾けていました。



農地の利用最適化を求める

農業委員会意見書



農業委員会意見書提出は11月16日、市役所で行われ、前川正人市農業委員会会長ら4人が訪れました。

意見書は、農業の発展と農地などの利用最適化を効率的に実施するため、市に耕作放棄地の発生防止と解消策の実施などを求めるもの。

意見書を受け取った阿部勝弘副市長は「農業委員会からの意見は、地域農業の振興にとつて重要なものです。できるところから取り組んでいきたい」と述べました。

タスキに思いを込めて

ふくしま駅伝相馬市チーム結団式

第33回ふくしま駅伝相馬市チームの結団式は11月14日、スポーツアリーナそうま第二体育館で行われ、選手ら20人が出席しました。

式で、チームを代表して武島昭良監督が「チーム一丸となつて、昨年より上の順位を目指したい」と大会への抱負を述べました。

大会は、11月21日に開催され、選手らは16人でタスキをつなぎ、白河市から県庁までの約95キロメートルを完走しました。



秋晴れの山開き 塩手山登山



塩手山の山開きは11月23日、同山登山道入口で開催され、関係者ら57人が参加しました。市の観光名所の一つとして塩手山の魅力を広くPRすることを目的に、塩手山山開き実行委員会と市観光協会が主催。

参加者らは、荒一信同実行委員会実行委員長の山開き宣言を皮切りに登山を開始し、秋晴れの澄んだ空気の中、心地よい汗を流しました。

地震などの災害から身を守る 小・中学校防災訓練

中一小



中村第一小学校避難訓練は11月11日、同小学校で行われ、全校児童328人が参加しました。

休み時間の地震発生を想定し、校内放送を聞いて的確な避難行動をとることを学ぶために実施。

児童らは、地震発生の際に放送が流れた後、机の下に隠れて待機し、続く給食室での火災発生の際に放送の指示に従い、火元から離れた出入口から一斉に校庭に避難しました。

磯部小

磯部小学校避難訓練は11月18日、同小学校で行われ、全校児童24人が参加しました。

地震による校舎内の火災発生を想定し、安全、迅速、冷静に避難することを目的に実施。

児童らは緊急放送の後、防災頭巾をかぶって机の下に隠れて待機し、火災発生の際に追加指示で校庭に避難したほか、訓練用の水消火器を使用した初期消火訓練を行い、災害への備えを学びました。



磯部中



磯部中学校炊き出し訓練は11月18日、同中学校で行われ、全校生徒26人と保護者らが参加しました。

災害で飲料水などが十分に確保できない場合の調理方法や、野外などで安全・迅速に食事を用意する方法を学ぶために実施。

生徒らは、水を節約するためにポリ袋を使用してカレーを作ったほか、校庭に用意した一斗缶のたき火で豚汁を作り、災害時の制限された条件下での調理を学びました。

飯豊小

飯豊小学校避難訓練は12月3日、同小学校で行われ、全校児童226人が参加しました。

地震などの災害に応じた避難の心構えや命を守る方法を学び、一人一人が的確に判断し行動できるようにすることを目的に実施。

児童らは、地震が収まるまで机の下で待機し、火災発生の際に追加指示で階段を使って校庭に避難したほか、訓練用の水消火器を使用した初期消火訓練を行い、消火器の扱い方を学びました。

中一小の児童が
迷子を保護
感謝状贈呈式

相馬警察署長感謝状贈呈式は12月2日、中村第一小学校で行われました。

表彰を受けた同校5年生の清水雷土さん、高橋温久さん、馬場映亘さんは、宇多川の河川敷で泣いていた迷子を同小学校に送り届け、事件や事故を未然に防止。

清水誠二同署署長は「人を助けるといふ気持ちを忘れず、立派な大人になってください」と述べ、一人一人に感謝状を手渡しました。

リーディングスキルによる学力向上 中一中・中一小公開授業



AI時代を生き抜く読解力向上事業公開授業は11月26日、中村第一中学校と中村第一小学校で開催されました。

令和2年度より本市が学力向上を目的に導入した「読解力（リーディングスキル）」の視点を取り入れた授業で、公開は初の取り組み。

同中学校では74人の生徒が参加し、理科の授業で気象要素に着目し、気象モデルを活用してグループごとに天気予報を作製しました。

タブレット端末の効果的な活用を研究 中二中・中二小公開授業

ふくしま「未来の教室」公開授業は12月7日、中村第二中学校と中村第二小学校で開催されました。

一人一台のタブレット端末を整備し、各人に合わせて創造性を育むことを目的としたGIGAスクール構想の一環で、本市初の取り組み。

同中学校では51人の生徒が参加し、端末の録画機能やクラス内の意見交換ができる機能を活用し、熱心に授業を受けていました。



新米をPR JAふくしま未来



ふくしま未来農業協同組合は12月1日、市役所を訪れ、市内で収穫された新米（天のつぶ）を立谷市長に届けました。

訪れたのは、山田秀晴同農業協同組合そうま地区役員代表ら3人。

天のつぶは県オリジナルの品種で、粒ぞろいの良さ、光沢、食べ応えのあるしつかりとした食感が特徴です。

新米を受け取った立谷市長は「ありがとうございます。新米を毎年楽しみにしています」と述べました。

地域経済支援のために寄付

相双五城信用組合

相双五城信用組合による寄付は11月25日、市役所で行われ、梅沢国夫同組合理事長ら4人が訪れました。

寄付は、同組合創立70周年記念事業の一環として、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受ける地域経済の支援を目的とするもの。

立谷市長は「寄付ありがとうございます。大事に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



福祉事業支援のために寄付

株式会社ADEKA

株式会社ADEKAによる寄付は12月6日、市役所で行われ、高橋真木雄同工場長、高野紘一同労働組合相馬分会事務局長らが訪れました。

寄付は、同社と同労働組合相馬分会から福祉事業の充実に役立ててもらおうと寄せられたもの。

立谷市長は「毎年の寄付ありがとうございます。保育士などへの奨学資金貸与事業として大切にに使わせていただきます」と述べました。

豊かな発想とアイデアをたたえる 県発明展受賞報告

第67回福島県発明展受賞報告は11月29日、市役所で行われ、渡部葵空さん、伊東季沙さん、篠山明希さんの3人が訪れました。

受賞者らは、9月8日に開催された第54回市発明展で相馬市長賞を受賞し、11月13日～14日に郡山市で開催された県発明展に出品。

渡部さんが特選の東北経済産業局長賞、伊東さんが特選の一般社団法人福島県発明協会会長賞、篠山さんが入選の公益財団法人福島県産業振興センター理事長賞をそれぞれ受賞しました。



受賞者らは作品の特徴や発想のきっかけなどを説明し、報告を受けた立谷市長は「どの作品も納得の出来栄で、大変すばらしい。よくがんばりました」と受賞をたたえました。

●受賞作品(敬称略)

- ▽特選(東北経済産業局長賞) Ⅱ「渡部のボイラー(ミニ)」渡部葵空(中一5年)
- ▽特選(一般社団法人福島県発明協会会長賞) Ⅱ「つまんでカッター ピンセット」伊東季沙(桜丘小5年)
- ▽入選(公益財団法人福島県産業振興センター理事長賞) Ⅱ「ぺったんネーム」篠山明希(中一中3年)

先代から伝わる火入れ技術が評価 醸造技能者表彰 受賞報告

2021年度日本醸造協会醸造技能者表彰受賞報告は12月6日、市役所で行われ、合資会社山形屋商店の渡辺和夫代表社員が訪れました。

今回受賞した商品は、山形屋商店のこいくちしょうゆ「ヤマブン本醸造特選醤油」で、調味食品関係部門の醸造技能者表彰を受賞。

先代から伝わる火入れの技術が生む香りとうま味、色つや、風味のバランスが高い評価を受けました。



プレ親子教室で手遊びなどを楽しむ 相馬こどものみんなの家

相馬こどものみんなの家プレ親子教室は12月1日、回所で開催され、7組15人の親子らが参加しました。

乳幼児の子育てを行う保護者と子どもの触れ合いの場所を提供することを目的に、NPO法人ふれあいサポート館アトリエの主催。



みんなで就労支援事業所を応援 福祉事業所合同販売会

市福祉事業所合同販売会・就労支援相談会は12月7日・8日、市役所で行われ、約150人の市民らが訪れました。

障害福祉サービスや就労支援事業所などの取り組みを広く知ってもらうことを目的に、地域自立支援協議会就労支援部会の主催。

販売会には市内就労継続支援事業所のミッキーズ・ハウス、工房もくもく、スマイルセンター、ひまわりの家2やアルファワークスのほか、県立相馬支援学校が参加し、訪



れた人たちは交流をしながら、買い物を楽しんでいました。